



大寒も過ぎましたがまだまだ寒い日が続きますね。

文：小川 康成

三重に住んでいた時には、東大寺の行事 3月 14 日の「奈良の水取りまでは寒いねえ。」が合言葉のようでした。さて、今月 2 月 24 日でロシアのウクライナ侵攻から 1 年になります。多くの犠牲者を出し、世界中を混乱に陥れた行為は即刻やめて欲しいものですが、戦争は誰も幸せにならない事を改めて実感させられました。平和な 1 年であって欲しいものです。

それは本当に同じもの？

物の価格には理由があるのが一般的ですが、『**保険は商品の特性上“見えない”という不可視の部分をどうとらえるか**』が商品選択に影響を与えます。

例えば、車を購入する時に視覚情報なしに文字だけで、「**タイヤが 4 つ、エンジンがついて、大人 4 人が乗れます。A は 300 万円、B は 600 万円です**」と書いてあった場合どうでしょうか？ 同じものだと思いますか？ **文字だけでは判断材料は値段しか無い**ですね。

*A は 1.5 ㍓の小型車、B は 3.0 ㍓の高級車でした。



車の場合は見たり触ったり試乗したりして、価格と値段のバランスを見ながら購入する側の価値尺度で判断できますが、文字だけの保険の場合は一見同じように見える表現では値段しか判断材料が読み取れない事が多々あります。

明確な記載のない、補償内容の差

更に現実には、パンフレットや商品内容を詳細に記載した冊子の約款にも、明確には記載されておらず、保険会社ごとで補償内容に差が有るものもあります。これは、日々現場で保険会社とお客様の間に入っている我々代理店が、経験や知識からの情報、いわば現場のスキル（知識）と言えるもので、こうなるともはや専門家でないと判断は難しいと言えます。

例えば、**自動車保険で車両価格 300 万円の車が盗難される事故が起きました。**

盗難車両は一週間後、警察により発見されましたが、ガラスと鍵穴が壊されており修理に 20 万円かかるケースです。



A 社では、盗難された時点の被害額 300 万円が支払われますが、

その代り車両保険金を受取ると、もちろん車の権利は保険会社となります。

B 社では、車両が戻ってきたので修理費 20 万円が支払われます。 **差額 280 万円**



これはほんの一例で、約款を読み込むか、現場で経験を積む以外に理解の難しい差が、自動車保険という商品の中にはいくつもありますし、特約補償の違いや有無、ロードサービス内容、搬送距離、代車日数の数え方や条件、飲酒運転の定義 等々、事例の枚挙に暇がありません。



目に見えない商品という特性上、宣伝や保険料価格だけで判断しがちになりますが、中身があつての価格です。

補償の中身について分かりづらい、また何をどう選べば良いか分からない。そんな時、現場で経験を積んでいる専門家の私達がお役に立ちますので、お気軽にお声かけて下さい。

メンバー 近況報告

1月の災難

岩瀬 英之

1月初旬、人生で初めて家の鍵を落としてしまいました。帰宅後、普段ポケットに入れている鍵がないことに気が付き、家の周りや自転車置き場、帰りに寄ったスーパーまで戻り探しましたが、お店の閉店時間が過ぎていたため外しか探せられず、見つけれませんでした。火災保険の「暮らしのQQ隊」の無料サービスで業者さんと呼びましたが、既に9時過ぎていたため、業者さん到着までの一時間ほどを寒い外で待ちました。到着した業者さんが鍵を確認したら、外から作業ができないタイプで、結果ドアスコップを外し中から開けてもらいました。次の日、改めてスーパーへ確認のため行ったところ、朝の清掃の方が拾い、落とし物として届けられていたので、とても助かりました。清掃の方に感謝です。



新年早々、悪いことが起き、これからは無いかんと思っていましたが、その後直ぐ、通勤途中に自転車で転んでしまいました。朝持っていた傘を帰りはハンドルにかけ乗っていたら、段差で揺れた際に前輪に挟まってしまい思いっきり倒れました。幸い受け身が取れ大事に至らなかったし、周りには誰もいなかったため恥ずかしい思いもせず、本当に良かったです。1月は、悪いことが立て続きましたが、今後は何も無いと良いなと思っています。

飛騨牛・近江牛食べ比べツアー

小川 とも子

全国旅行支援を利用して彦根城関ヶ原古戦場記念館に行ってきました。久しぶりの彦根城でしたが、石垣がきつくて皆、ひいひい言っていました。ツアーですので集合時間に遅れを取るといけないので、天守閣には登らず、玄宮園に向かいました。ここは池泉回避式庭園でどこから見ても絵になる風景です。昔、井伊家の関係の人々もこの景色を見ていたのかなぁと思いを巡らせました。その後関ヶ原「花伊吹」で待ちに待った牛肉の昼食です。1テーブル7人程で1人のシェフが付いて鉄板で飛騨牛と近江牛を焼いてくださるのですが、パフォーマンスがすごいです。炎が1、5m以上上がり、あちこちのテーブルから「おー」というどよめきが上がっていました。ここは“麩”が特産と言うことで“麩”を使った料理も出ました。この後、南宮大社に行ったのですが、この建物は関ヶ原の戦いの後、春日局の願いにより、三大将軍徳川家光が再建した建物だそうです。最後に関ヶ原古戦場記念館に行ったのですが、この建物は24億円をかけて造ったそうです。中でもシアターがすごく広く音と風と振動もあり、あたかも自分が戦いの一員になっている気分でした。今回の旅行で地域クーポンが電子クーポンのみとなり誰も使えなくて、ちゃんと時代についていけないと損をするねという話になり、次の旅行の時には使えるようにしようねと反省したのです。でもとても楽しい旅でした。



AR デジタルパーク

古川 友架

最近娘が、サンリオのキャラクターが好きで、モンキーパークでサンリオキャラクターフェスをやっていたので行ってきました。パネルや巨大エアバルーンがあり、写真を撮ったり、デジタルパークで遊んだりしました。砂場にデジタルで映像が映し出されていて、虫眼鏡で宝箱の場所を探してそこの砂を掘るとサンリオのキャラクターが出てくるものがとても面白かったみたいで、ずっと探しては掘って遊んでいました。私達の子供の頃にはないAR(拡張現実)デジタルの遊びは本当に良くできていて、大人でも感動します。ららぽーとにもデジタル砂場があり、そこは広くてそのまま裸足で入れるのですが、大人も一緒になって魚を探ったり、海の生き物を探したり飽きることはありません。壁に映像を映し出して学ぶデジタルウォールもありましたが、たくさんの数字を足して10にするという、少し難しめのものだったので小学生はそちらがよさそうだなと思いました。デジタルと遊びの融合がこの先ますます増えていくかと思いますが、知恵を使ったりして学びにもなり、体を動かした遊びにもなる。子供心はもちろん大人でも楽しめる遊び場が身近なところに増えるといいなと思いました。

